

カチオン系下地調整塗材 JIS A 6916 建築用下地調整塗材(C-1)

DIA

ダイヤ カチオンフィラー

F☆☆☆☆

新装・改装において優れた仕上りを実現する付着力抜群の特殊カチオン系セメント下地調整塗材です。

■ 特 長

- 強力な付着力と優れた下地調整効果で新築にも改装にも幅広く使えます。
標準の刷毛塗り以外にローラー、コテ、ヘラ付け、吹付けも可能。仲介接着材として下地、仕上材によく馴染み、効果を発揮します。
- 充填性がよく防水効果を高めます。
ALC、コンクリートブロック、軽量PC板等の多孔質下地の目止め充填に優れ脆弱な下地を強化、均質化すると同時に防水効果も高めます。
- 刷毛塗り程度の薄塗りでもドライアウトしにくい下地調整塗材です。

■ 用 途

荷 姿：30kgセット(主材：20kg/硬化液：10kg)

対象下地	効果	仕様
合板型枠コンクリートの荒れた面 細かい気泡穴の多いコンクリート モルタルやコンクリートの割れ	下地調整 充填補修	カチオンフィラー カチオンフィラーバテ カチオンフィラーモルタル
モルタルやコンクリートの 比較的小規模な不陸、目違い、巣穴、段差	補正・補修による下地の平滑化	カチオンフィラーバテ カチオンフィラーモルタル
ALCパネル コンクリートブロック	表面を均一に充填調整する 吸い込みを抑える 脆弱層を強化する 防水性を付与する	カチオンフィラー カチオンフィラーバテ カチオンフィラーモルタル
セメント系仕上材の改装下地 合成樹脂エマルジョン系仕上げの改装工事	脆弱層の下地抑え 仕上材との接着効果	カチオンフィラー カチオンフィラーバテ カチオンフィラーモルタル
吹付けタイル、吹放しコンクリート 洗い出し仕上げ、小叩き仕上げ等の改装	仕上材との接着効果 充填調整	カチオンフィラー カチオンフィラーモルタル

※その他、石膏ボード、ケイ酸カルシウム板の下地調整にも適応します。

■ 性 能

試験項目	試験条件	成績	試験方法	
軟度変化	±20%以下	5	JIS A 6916による	
耐ひび割れ性	ひび割れがないこと	異常なし		
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれがないこと	異常なし		
吸水性	2.0g以下	0.8		
付着強さ	標準養生	0.7N/nm ² 以上		1.4
	低温養生	0.5N/nm ² 以上		1.0
耐久性	0.7N/nm ² 以上	1.2	JIS A 6909標準養生による モルタル板にカチオンフィラーを刷毛塗りし 1日養生後各種仕上材を塗布する。	
仕上材との付着強度 (N/nm ²)	薄付け仕上塗材	1.5		
	複層仕上塗材	1.1		
	厚付け仕上塗材	1.3		

ダイヤカチオンフィラー

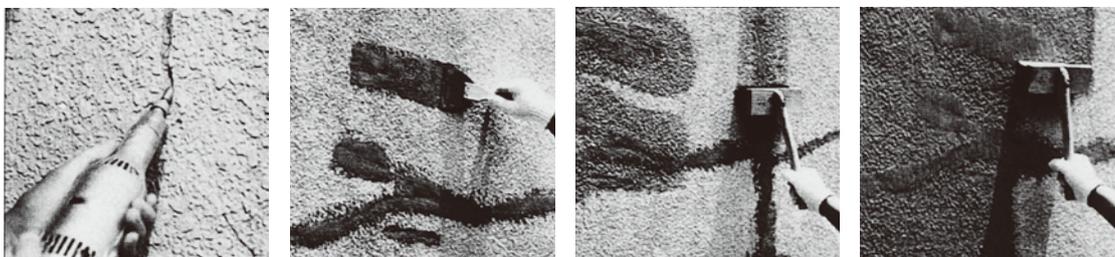
施工工程

工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間
1	下地調整	①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイタンス等を完全に除去して下さい。 ②雨上がり後は均一に乾いてから施工して下さい。 ③豆板、木コン穴、破損箇所、不陸、目違い、ひび割れ、気泡穴等はカチオンフィラーモルタルで補修して下さい。			
2	ダイヤカチオンフィラー 刷毛・ローラー	ダイヤカチオンフィラー 主材 20kg 硬化液 10kg 清水 8~12%	RC等 0.6kg/m ² 50m ² /ℓ ALC 0.67kg/m ² 45m ² /ℓ 改装面 0.6~0.75kg/m ² 40~50m ² /ℓ	1	24時間以上
	ダイヤカチオンフィラー 吹付け	ダイヤカチオンフィラー 主材 20kg 硬化液 10kg 清水 9~13%	0.7~1.0kg/m ² 30~42m ² /ℓ	1	24時間以上
	ダイヤカチオンフィラー パテ	ダイヤカチオンフィラー 主材 20kg 硬化液 10kg 清水 3~5%	適量	1	24時間以上
	ダイヤカチオンフィラー モルタル	ダイヤカチオンフィラー 主材 20kg 硬化液 10kg 珪砂6・7号 5~10kg 清水 3~7%	適量	1	7日間以上

※吹付、パテ、モルタル工法はJIS対象外です。

下地の前処理

- ①コールドジョイントや雨漏りの可能性のあるひび割れはあらかじめ防水処理をして下さい。例えば、Uカット後ボンドブレイカーまたはバックアップ材を底部に挿入し、次にシーリングを充填し、ダイヤカチオンフィラーモルタルで平滑にしてください。
- ②下地の突起、レイタンス、または型枠の影響や凍結による硬化不良等で脆弱となった部分はワイヤブラシやケレン棒で除去して下さい。
- ③下地表面に露出している番線や釘などは除去するかセメンジャス # 2000またはエポキシ系錆止め塗料で防錆処理をして下さい。
- ④複層仕上の旧塗膜等はサンダー等で目荒してから施工して下さい。



調合方法

- ①硬化液はよくかき混ぜて均一にしてから使用下さい。
- ②硬化液10kgに清水3~5%と主材20kgを加えて、ペースト状になるまで混練して下さい。
- ③さらに残りの清水を徐々に加えながら塗りやすい粘度に調整して下さい。尚、この時清水を加えずと本来の接着力を発揮しない場合がありますので、加える量は厳守して下さい。

施工方法

- ①施工は腰の強い左官刷毛、ジュラクガン、リシンガン等で行って下さい。
- ②細かい気泡穴の多い下地に吹付け施工を行う場合は、材料が気泡に充分充填されるように吹付け直後、刷毛でごいて下さい。
- ③シリコン系シーリング材の上には完全に接着しないので使用できません。
- ④溶剤系 2液反応硬化形塗材の下地調整材としては使用できません。施工する場合はダイヤセメントフィラーをご使用下さい。
- ⑤ダイヤカチオンフィラーは混練すると強アルカリ性になります。施工の際には眼鏡等で目を保護して下さい。

注意事項

- ①可使用時間以内に使用できる量を調合して下さい。(可使用時間/夏期:約1時間、冬期:約2時間)
- ②雨天時または5℃以下の時は施工を避ける。また、夜間に凍結のおそれがある場合は作業時間を考慮し、必要に応じ養生を行って下さい。
- ③施工直後に降雨が予想される場合や冬期、エフロレッセンスの発生が懸念される場合はシートをかけて下さい。
- ④材料の保管および調合場所は直射日光の当たらない場所で行って下さい。屋内の湿気の少ない場所に保管、床に直接置かず、硬化液は冬期間凍結しないようにして下さい。(材料の保管は3ヶ月以内にして下さい)
- ⑤材料は付着乾燥しますと取れませんが完全に養生をして下さい。塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、施工後は速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃してください。
- ⑥施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点について仕様書をご確認下さい。
- ⑦施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。



株式会社 **ダイフレックス**

取扱店

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021
URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。